

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 163-0536
 住 所 東京都新宿区西新宿一丁目26番2号
 氏 名 野村不動産ビルディング株式会社
 代表取締役 吉田 祐康

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	野村不動産ビルディング株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 幸区堀川町72番34号 ラゾーナ川崎東芝ビル		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	K	不動産業, 物品賃貸業
	中分類	69	不動産賃貸業・管理業
主たる事業 の内容	ビル賃貸業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	3,198	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計 画 期 間	2020 年度 ~ 2022 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

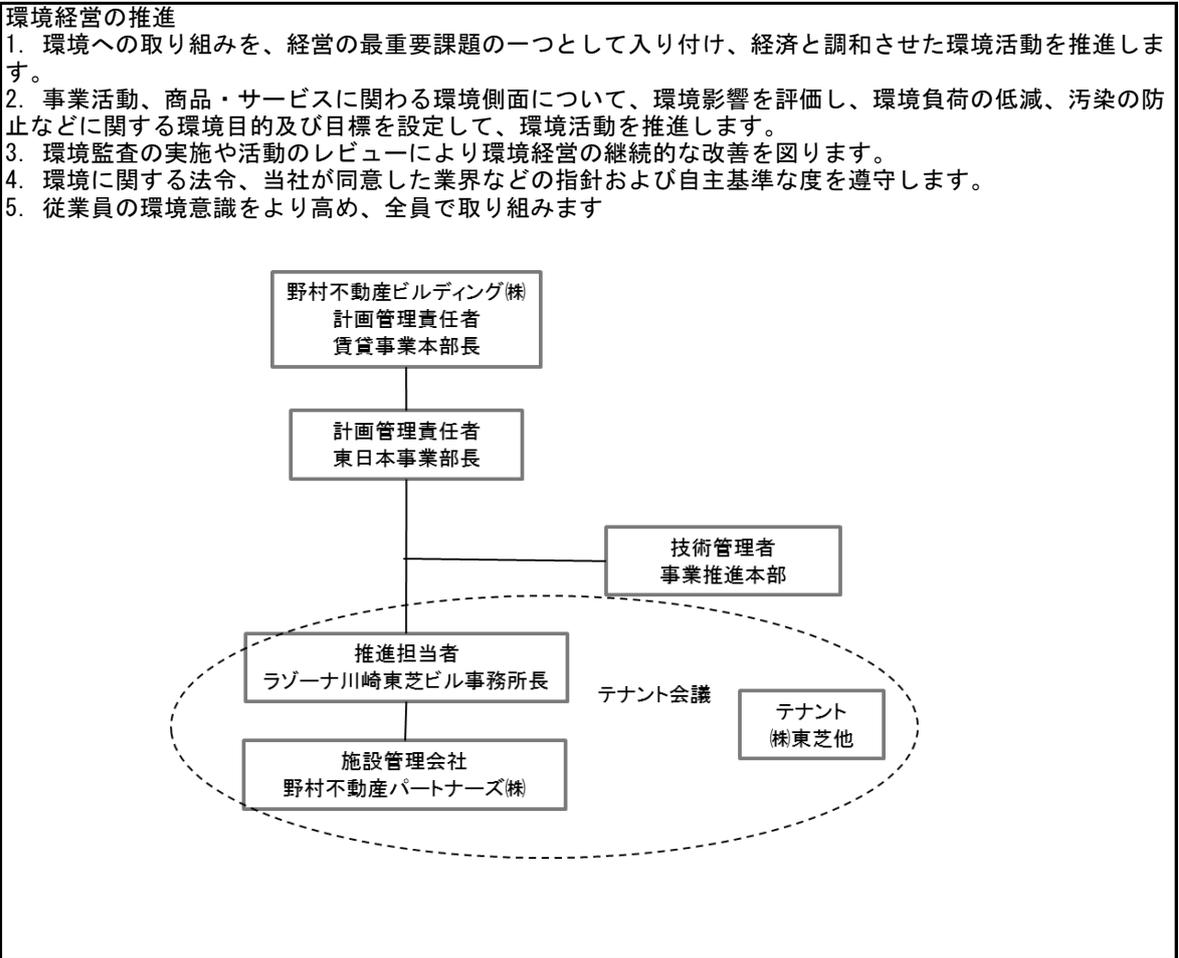
I. 事業者全体環境基本方針
 (1) 野村不動産ビルディングは、「I」かけがえない地球環境」を、健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」との認識に立って、お客様のニーズを尊重して期待に応えられるような、安全、安心快適な執務環境・生活環境を提供することにより、豊かな価値の創造を地球との共生を図ることで、持続可能な社会へ貢献します。
 (2) 環境に配慮した商品・サービスの提供と事業活動
 1. 地球資源の有限性を認識し、事業プロセスの両面から有効な利用、活用を促進する、積極的な環境施策を展開します。
 2. 地球温暖化の防止、資源の有効活用、化学物資の管理など、すべての事業プロセスで環境負荷低減に取り組みます。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDC Aサイクル）を行うための方針

(3) 地球内企業として
 1. 優れた環境技術や商品の提供、および地域・社会との協調連帯により、環境活動を通じて社会に貢献します。
 2. 相互理解の促進のために、積極的な情報開示とコミュニケーションを行います。

II. 市内事業所の基本方針
 ・全体の基本方針に則り活動する。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（(実)は実排出量を、(調)は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等		
基準	年度	2019				年度
目標	年度	2022				年度
基準	排出量	(実)	5,931	(実)		
		(調)	5,766 t-CO ₂	(調)	t-CO ₂	
目標	排出量	(実)	5,753	(実)		
		(調)	t-CO ₂	(調)	t-CO ₂	
削減量		(実)	178 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
内訳	対策実施による削減量	(実)	178 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
	上記以外の削減量	(実)	0 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
削減率		(実)	3.0 %	(実)	%	

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
原単位等の活動量		賃貸面積			
原単位の単位		t-CO ₂ /m ²			
基準年度の値		0.04627			
目標年度の値		0.04488			
削減率		3.0 %		%	

ウ 目標設定に関する説明

<p>①ラゾーナ川崎東芝ビル 2013年1月竣工、2014年1月以降満床稼働しており在館人数も大きな変動はありません。 また竣工時より省エネ機器が採用されており、季節ごとの空調管理をスマートBEMSの運用により最適運用を実現しております。</p> <p>②NREG川崎ロジスティクスセンター 2014年3月竣工、2014年6月以降満床稼働しております。 また竣工時より省エネ機器が採用されております。</p> <p>上記2物件において、検討中の省エネ施策により、基準年度比-3%の削減を目指します。</p>

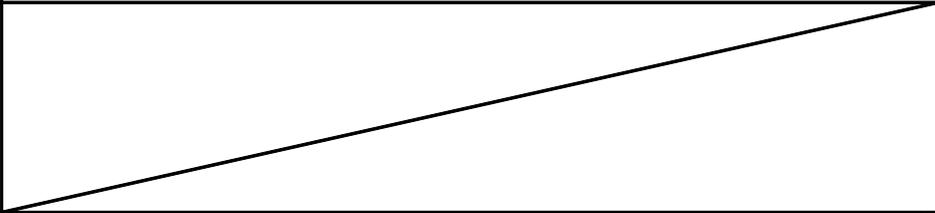
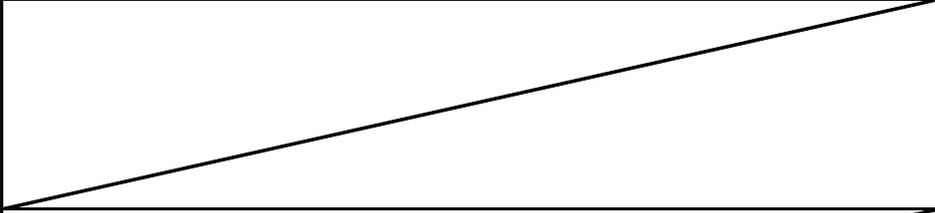
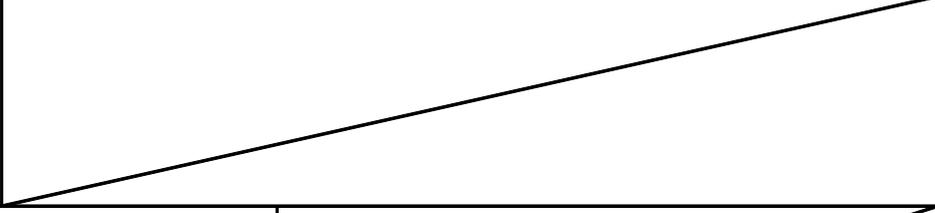
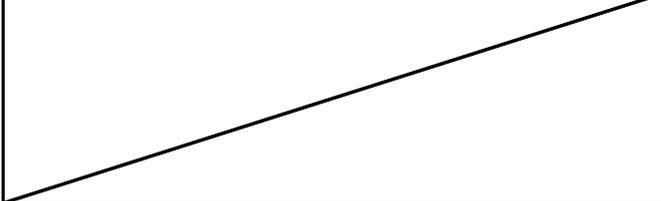
(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

--

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容(別表第1から6等を参考に記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>①ラゾーナ川崎東芝ビル ○推進体制の整備 排出量の相互把握を行い、情報共有体制を維持する。 ○空調調和の管理 ブラインドの管理による不可の軽減および使用状況に応じた設備の運転時間・温度等の適切な設定を行う。 ○換気設備の効率管理 二酸化炭素濃度を定期的に測定し、換気量・時間を調整する。 ○給湯設備の効率管理 照明の点灯を施す区画の限定、過剰又は不要な点灯防止のための点灯時間短縮又は消灯の実施。 ②NREG川崎ロジスティクスセンター ○推進体制の整備 排出量の相互把握を行い、情報共有体制を維持する。</p>
<p>第1年度</p>	
<p>第2年度</p>	
<p>第3年度</p>	
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

<p>①ラゾーナ川崎東芝ビル ○推進体制の整備 排出量の相互把握を行い、情報共有体制を維持した。 ○空調調和の管理 ブラインドの管理による不可の軽減および使用状況に応じた設備の運転時間・温度等の適切な設定を行った。 ○換気設備の効率管理 二酸化炭素濃度を定期的に測定し、換気量・時間を調整した。 ○給湯設備の効率管理 照明の点灯を施す区画の限定、過剰又は不要な点灯防止のための点灯時間短縮又は消灯を実施した。 ②NREG川崎ロジスティクスセンター ○推進体制の整備 排出量の相互把握を行い、情報共有体制を維持した。</p>
--

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他()		
その他()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

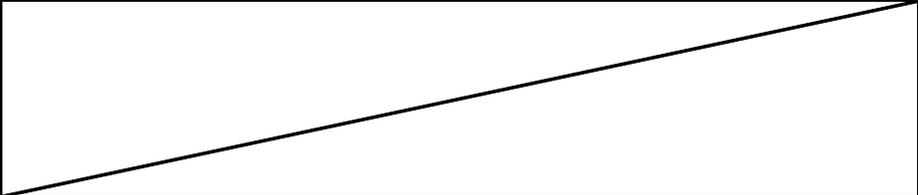
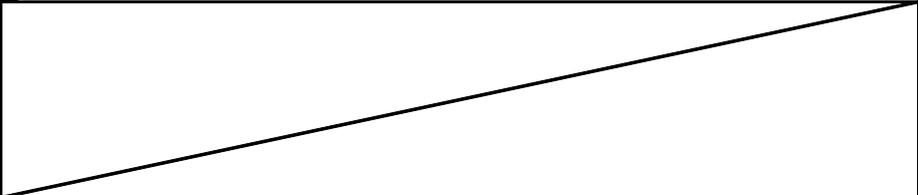
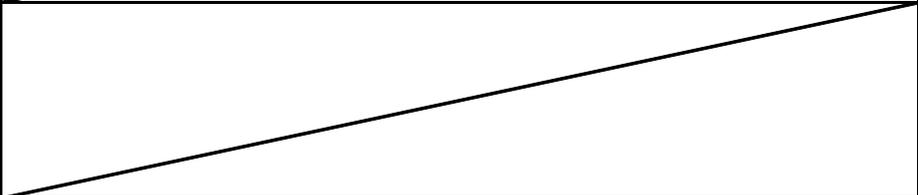
種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

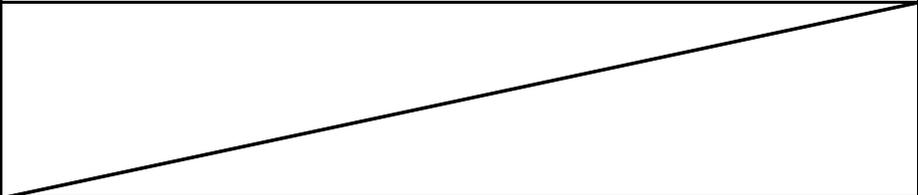
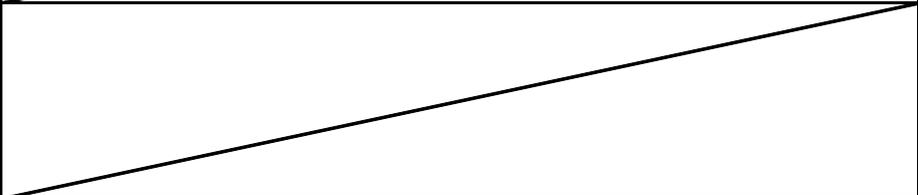
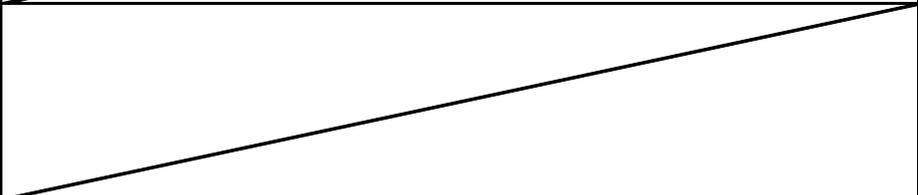
(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	○	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	○
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他()	
EV、PHV、FCV	×	その他()	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	なし
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	なし
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績 (1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	5,931	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

3,198	K L
-------	-----

ウ 事業所の数

2

(2) 事業所等单位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k1 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
ラゾーナ川崎東芝ビル	川崎市幸区堀川町72番34号 ラゾーナ川崎東芝ビル	4,964 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k1 以上 1,500k1 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
NREG川崎ロジスティクスセンター	川崎市川崎区池上新町3-1-3	967 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂